

クリニカルパス通信



「クリニカルパス」用語

バリエンス

アウトカムが達成できない状態

バリエンスの要因

・患者要因

身体的要因、学習能力、家族の希望、合併症の発生など

・病院要因

システム、指示漏れ、実施漏れ、検査・手術が設定できないなど

・社会的要因

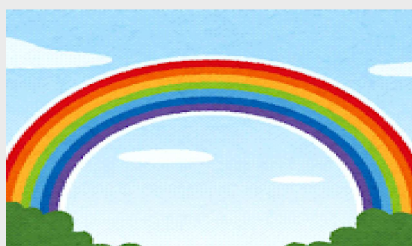
家族、施設、在宅、家族の受け入れ状況が整わないなど

バリエンスの程度

変動：パスに揺らぎを与えるもの。
アウトカムや入院期間に影響がない。

逸脱：アウトカムに影響を及ぼすもの。

脱落：パスのプロセスからはずれ、戻れないもの、パスの継続不可能



病院機能評価受審に向けて

現在、病院機能評価受審に向けて病院全体で取り組みを行っています。クリニカルパスに関しても、新たなパスの作成とともに、定期的な見直しが行われているか、バリエンスの分析がされているかなどが課題になっています。現在パスノートの運用が開始され、皆様の疑問点や悩みなど、パス委員会を中心に1つ1つ解決、改善しています。また記録委員会も連動しパスに関する改善を行っています。今後もパスノートの活用をよろしくお願いいたします。

また、クリニカルパス用語ではバリエンスについて再度記載しています。様々な要因でバリエンスが発生しますが、バリエンスの程度によってパスの逸脱や脱落が生じます。そのような状況でもパスを使用し続けていませんか？適切にパスを使用しましょう。

6月9日のパス大会では木戸川先生による「ヘルニアパスのバリエンス分析」についてお話がありました。バリエンス分析を行うことでパスの問題点が明らかになり、改善策を提案することで、医療の質向上へとつながります。今後も分析の継続ができればと考えています。

今年度のパス適応率の目標は？

令和4年度の
パス適応率
45.6%

令和5年度
目指せ、
パス適応率
55%!

令和 5 年度
400 件へ!



新パス紹介(1~3月承認分)

循環器内科

★PCI (前日入院)

脳外科

★ラクナ梗塞 t-P A なし エダラボンあり

★脳内出血 (保存)

★ラクナ梗塞 t-P A なし エダラボンなし

皮膚科

★带状疱疹

★蜂窩織炎

★丹毒

現在運用中のパスは 360 個
(6 月時点)

外科・呼吸器外科	157
整形外科	83
小児科	42
形成外科	15
手術室	12
眼科	11
脳神経外科	14
婦人科	6
看護部	5
泌尿器科	4
循環器内科	4
皮膚科	4
内科	2
耳鼻科	1

【2022 年 1~3 月パス適用率】

